

令和7年度 第3回南魚沼市行政改革推進委員会 議事録

と き：令和8年3月23日（月）9時30分

ところ：南魚沼市役所 3階 302会議室

【参加者】

南魚沼市行政改革推進委員

木村かすみ会長代理 小林勝巳委員 富山洋委員 中島正樹会長 吉田薫委員（五十音順）

南魚沼市

事務局：片桐総務部長 見留企画政策課長 小林行革主幹 滝澤主任

事業担当者：石田国保年金係長 中村主事

【議事】

1. 開会（進行：中島会長）

総務部長 あいさつ

2. 議事

(1) 今年度の行政改革に関する取組の年度末報告

資料1 令和7年度行政改革取組状況 ～年度末報告～

（報告：企画政策課 小林行革主幹）

富山委員

AIオンデマンド交通の導入について、地元丁寧に説明したと聞いていますが、高齢者の方々のご意見として代表的なものを教えてください。

片桐総務部長

上田地区で13回にわたって説明会を行い、延べ148人の方が参加されました。参加者は概ね高齢者の方で、地域外から参加される方もいらっしゃいました。丁寧に説明することで、一定のご理解をいただいたと感じておりますが、実証運行が始まってみないとわからないというのが市民の方々の率直な感想ではないかと思っています。

木村会長代理

AIオンデマンド交通が導入されたら、従来の路線バスや市民バスは路線廃止になるということでしょうか。

片桐総務部長

上田地域で始めることは、朝と夕方は決められたルート、決められた停留所に止まる定時定路線という形態と、日中は利用者の予約に基づいて、AI（人工知能）が最適なルートや配車を計算して運行するAIオンデマンドという形態を組み合わせる形です。上田地域では、路線バスが廃止となる報道がされていますが、2つの形態でカバーしていきます。

木村会長代理

市政懇談会の開催時間はいつも決まっているのでしょうか。出たいと思っても、都合が付かないことが多いので、色々な時間帯で開催してほしいと思います。

片桐総務部長

市民の方はどの地域に参加していただいても構わないのですが、いつどこであるのかがわかりづらく、広報の方法を見直す必要があると考えています。来年度は各地域づくり協議会の単位で開催を予定しており、A I オンデマンドバスの拡大に合わせて、市民の方に直接市の取組みを伝える機会を設けていきたいと考えています。

富山委員

民間活用の推進について、国勢調査の外部委託によって職員の事務負担が大幅に減少したということですが、ほかにも効率化に繋がる業務はあるのでしょうか。

また、ごみ処理施設の建設について、道の駅の指定管理者となる企業体には地元の団体も入っていたかと思いますが、ごみ処理施設に関しては、地元の企業や団体が関わるような仕組みで公募をされているのでしょうか。

小林行革主幹

国勢調査の調査票審査業務の委託先は、全国規模で行政事務の受託の実績がある会社でした。先方の社員の方に他の自治体での事務受託の内容を伺ったところ、窓口業務の受託が多いとの話でした。当市でも窓口の外部委託については検討を行っておりますが、費用対効果や行政サービスの維持に関して課題もある状況です。

片桐総務部長

ごみ処理施設については現在事業者の募集を行っており、6月に事業者を選定する予定です。市が示している落札者決定基準では、地元企業の活用などの地域に対する貢献も加点の要素としています。

中島会長

続きまして、委員会から報告を希望した事項である「マイナ保険証の利用状況と事務負担の変化について」の報告をお願いします。

(報告：市民課国保年金係 石田係長、中村主事)

木村会長代理

昨年の12月からこれまでの保険証が使えなくなると聞き、その時初めてマイナンバーカードの更新が必要ということを知りました。その後更新を行う際に、申請手続きはオンラインで行えましたが、交付を受ける際には対面での手続きが必要ということで、職員の負担が増えているのではないかと感じました。当面は2種類の保険証を扱わなければならないこともあわせて、事務事業の効率化を考えると、手続き中の諸々の手順についてここまで厳重にやる必要はあるのでしょうか。

石田国保年金係長

おっしゃる通り、2種類の保険証を扱う都合上事務は繁雑になりましたが、事務処理方法は国が一律で決めており、市の裁量で簡略化はできないため、事務の軽減は難しい状況です。

更新の手続きについては、マイナンバーカードが公的な身分証明書となるため、一度対面で本人確認をしてカードをお渡ししなくてははいけません。また、暗証番号の設定等も必要となりますので、対面の手続きを省略することが難しい状況ですが、国でも電子証明書の更新についてはオンラインによる簡略化の検討を始めているところです。

中島会長

マイナ保険証の利用率について、後期高齢者で 54.91 パーセントということですが、最終的には何パーセントを目標にしているのですか。

石田国保年金係長

国から数値目標は示されていませんが、利用率向上のための広報に対する協力依頼は受けています。南魚沼市の国民健康保険加入者のマイナンバーカード保有率が 81 パーセントですが、高齢等により手続きが困難な方や、ご自身の意思で取得しない方も一定数いらっしゃいますので、100 パーセントにするのは難しい状況です。後期高齢者の方は、令和 7 年度はみなさんに資格確認証を送付したので不便はありませんでしたが、後期高齢者広域連合では年齢によって資格確認証の交付を区分する対応を検討していますので、今後普及率や利用率は上がってくると考えています。

木村会長代理

資格確認書に有効期限はありますか。

中村主事

国民健康保険は、原則として 8 月 1 日から翌年の 7 月 31 日が有効期限となっています。

木村会長代理

その時点でまだマイナンバーカードを作っていないければ、1 年ごとに発行されるわけですね。

中村主事

そのとおりです。

富山委員

マイナ保険証の利用率が何パーセントくらいになれば事務量が軽減すると思いますか。

中村主事

2 種類の保険証を扱う以上、それぞれ異なる事務が生じるので、100 パーセントにならない限りは軽減されないのではないかと考えます。

(2) 事務事業検討シートの提出状況報告

(説明：企画政策課 小林行革主幹)

意見なし

(3) 令和 6 年度職員提言追跡調査結果報告

資料 2-1 令和 6 年度 担当課から回答を求めた職員提言

資料 2-2 令和 6 年度職員提言 担当課実施状況追跡調査

(説明：企画政策課 小林行革主幹)

意見なし

(4) 行政改革大綱改定案について

資料 3-1 南魚沼市行政改革大綱 (案)

資料 3-2 南魚沼市行政改革大綱改訂案 主な変更点

(説明：企画政策課 小林行革主幹)

富山委員

行政改革推進本部会議の中で、3本目の大きな柱「組織改革と職員の資質向上」の小項目の順番について意見があったとのことですが、このままでよいのではないのでしょうか。

小林行革主幹

小項目の順番ではなく、大きな柱の順番を変えた方が良いのではという意見となります。行政改革に直接関わりの深い2本目の柱「事務事業の改善」や3本目の柱「組織改革と職員の資質向上」を繰り上げ、1本目の柱「共創・共働のまちづくりの推進」と入れ替えてはどうかという意見でした。

木村会長代理

行政改革推進本部としては、具体的な事務改善や組織改革について記載している2、3本目の柱を先に記載してはということだと思いますが、1本目の柱で市民とともに取り組むべき項目を記載したうえで、2本目以降の柱で具体的な取り組みを記載する現在の順番でいいのではないかと思います。5本の柱が4本になっていることは、整理されてよいと思います。

- (5) 現地調査（南魚沼市給食センター）
（説明：学校教育課 齋藤六日町給食係長）

3. 閉会（あいさつ：木村会長代理）

（終了時間 14：45）